

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校(商C)[定時制]・伊万里商業高等学校[定時制]
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の教育方針や教育活動の状況等を保護者に伝えるため、広報紙発行を始めたが、HP等を含めさらなる活発な広報活動に努める必要がある。</li> <li>○いじめの予防に重点をおき、アンケートや個別面談の頻度を多くしたことで、発生時の早期発見及び迅速な対応にもつながった。</li> <li>○中途退学者はいなかったものの不登校傾向のある生徒は数名見受けられた。年度当初の支援が重要と考える。</li> <li>○卒業生は進学、就職ともに全員が進路を決定することができた。また、通信制高校との併修による3年での卒業もあり、生徒の多様なニーズに対応することができた。今後は、4年間(ないし3年間)を見通した系統的な進路指導をより充実させる必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>【実業】心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ専門的知識・技術を生かし社会に貢献する人材を育成する。</p> <p>【商業】生徒一人ひとりの「生きる力・生き抜く力」を育み、経済社会の変化に十分に対応しうる、社会人・商業人としての資質(知識・技能)を身につけさせ、社会に貢献できる心身ともに健全な生徒の育成を目指す。</p>
3 本年度の重点目標	<p>(1) 「心遣い」の発言や行動ができる生徒を育成する。</p> <p>(2) 学習意欲を高め、確かな学力を育成することで進路実現を目指す。</p> <p>(3) 地域の期待に応える学校づくりを推進する。</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者		
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度 (評価)	最終評価 実施結果	評価		学校関係者評価 意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の定着	○基礎学力テストで50%以上正答した生徒が、70%以上	・学校行事の精選を行い、授業時間を確保する。 ・授業実施率90%以上を目指す。							教務	
	○専門教科指導の充実	○指導方法の創意工夫により、「できる(自信をつける)授業」を展開する。 ○各種検定資格試験の合格率90%以上に上げる。	・チームティーチングによる個別指導をする。 ・基本練習を確実に行う。 ・達成度を確認させ、目標を明確にしていく。							商業	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○講演を受けて「ためになった」と回答した生徒が80%以上	・人権・同和教育、情報モラル教育の講演会の実施。 ・HRや授業等様々な場面で、他者を思いやることの大切さを説く。							教務	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施							生徒指導	
	○生徒が主体的に活動する場としての生徒会活動の活性化	○全ての生徒会行事について、企画段階から生徒会役員を中心に据える。 ○生徒会公約に向けての行動を起こす。	・生徒の意欲を導き出せるよう、職員と生徒会役員の連携を密にする。 ・生徒会役員が全校生徒の意見を集約できる機会を増やす。								生徒会
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒85%以上 ○給食の喫食率80%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する。 ・食生活に関する定期的な面談を年2回以上実施する。 ・「給食だより」を毎月発行する。							保健	
	○健康管理能力の向上	○保健室の利用率(一人当たりの年間平均利用回数)7.0未満 ○う歯治療の処置完了者率20%以上	・出席状況や健康観察から問題を抱える生徒の早期把握と面談、職員連携を図る。 ・給食後の歯磨き指導を徹底する。							給食	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎日の定時退勤推進 ・学校閉庁日の設定 ・出退勤管理システムによる日常チェック ・定期的な業務バランスの確認							教頭	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度 (評価)	最終評価 実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言	主な担当者	
○(独自評価項目・任意)	○進路指導の充実 ○キャリア教育の充実 ○希望進路の実現	○在校生の就業率を75%以上をめざす。 ○卒業予定者の進路決定率を100%にする。	・1年次からの就労体験を通し、社会性を身に付けさせ、進路意識を高める。 ・全日進路指導部および、ハローワークと連携し、進路情報を収集して、生徒に提供する。								進路指導
○教員の資質向上	○授業改善による教員の資質向上	○生徒による授業評価3.3以上(4段階)	・年度中期及び末に生徒による授業評価を行い、その後の改善に生かす。 ・いつオンライン授業実施することになっても対応できるよう、生徒・職員の間スキルや環境整備を速やかに行う。 ・授業評価、アンケートの結果を基にした、職員による授業改善協議(校内研修)を実施する。								教頭

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	---